よりよい地域をめざして……地域情報紙
シティライフ
2019.3.23 Vol.1466
市原版　配布地域／市原市・袖ケ浦市【75,000部】
https://www.cl-shop.com
企画・制作／シティライフ株式会社 〒290-0022 市原市西広550
TEL.0436 (21) 9311　FAX.0436 (21) 9141
シティライフが提供する動画をWEBで見れます！　動画あり　左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画がご覧頂けます！

古き良きを守り、同じ時代に生きる人々よ集え

宝林寺住職　千葉公慈さん

2月3日(日)、市原市立南総公民館で行われた『生き活き大学公開講座』。講師の駒沢女子大学の教授で、市内宝林寺の住職である千葉公慈さんが『小湊鐵道の逆開発から考える未来予想図 私たちが伝えたいもの』を副題に、日々の生活の中でいかに幸せを見つけられるか、市原市の重要な文化財の1つである小湊鐵道と仏教の教えを融合させながら説いた。「千葉県は成田空港もあり、世界の玄関口ともいえる県です。そして市原市は世界に誇る最先端技術をもつ工場が多く、一方で長閑な田園風景も広がっています。私は五井駅から続く小湊鐵道を常にタイムマシンだと思っています。都市部から離れるに連れて、まるで時代を遡っているような感覚を味あわせてくれるからです」と千葉さんは初めに話す。

小湊鐵道株式会社が提唱する『逆開発』。開発をして新しい土地や未来を切り開いていこうとする考えの逆を示すこの造語はつまり、古い物の中から素晴らしい存在を見つけていこうという意味で使われている。鉄道の線路の構成部材である枕木は、現代の鉄道業界ではコンクリートが使用されているが、小湊鐵道には本当の木材が使用されている。また、昭和30年代に造られた車両が現役で走り続けていることにも、千葉さんは驚きと興奮を隠さない。「60年近く前の車両は、博物館に並んでいてもいいレベルです。線路や車両を守り安全管理を維持する熱意は本当に凄いし、その車両がイノシシやシカのいる自然に向かって走っていくコラボレーションがまさに特殊で貴重な文化なんです」と、千葉さんは熱く語り、「そして逆開発は、仏教の『開発（かいほつ）』という言葉に繋がります。『開発(かいはつ)』は、みなさん新しい意味を生み出すという意味で使っていると思いますが、本来は、元々ある素晴らしいものに気づく、悟りの心、という意味なんです」と続ける。

言葉は数百年以上引き継がれている間に、まるで反対の意味で使われるようになることは珍しくない。たとえば、『うやむや』はどうだろう。本来は『有りか無しかはっきりさせる』という意味だが、『曖昧にしてしまう』という意味で使用していないだろうか。『無学』も同様で、現代では『学の無い人』として用いられるが、本来は『学ぶ必要が無いほど知識に溢れている人』という意味なのだ。千葉さんは、「チバニアンや南総里見八犬伝、儒学者である日高誠實が暮らした梅ケ瀬など日本を代表する文化や歴史が身近にあることに気づき、その素晴らしさに感謝しましょう」と促す。桜や紅葉の名所、温泉、美術館。市原市内にはイベントが定期的に開催されている名所も多くあるが、自分しか知らない秘密の素敵スポットを探して見るのも楽しいのではないだろうか。「人間は男女関係なく共通して悟りの心を持っています。せっかく人の心が花開くことなく人生を終えてしまってはいけません。心が目覚めると仏になれます。仏を表す仏陀（ぶっだ）という言葉も、目覚めた人や気付いた人という意味があるんです」と、説明した。

繁栄に必要なもの

また仏教には、『七不衰法（しちふすいほう）』の教えがある。これはブッダが亡くなった時の記録として『マハー・パリニッバーナ・スッタンタ』に収められている。今から2500年前のインドで、80歳を迎えたブッダは新たな旅に出る。旅では虫一匹殺さぬように歩く。そこへ小国ヴァッジ族の遣いが現れ、隣国で大国のマガダ王国に滅ぼされそうになっていることへの対応策を求められた。ブッダは弟子を通して、なぜヴァッジ族が小国ながらに繁栄して、滅びないのかを説いたという。「これこそ人間が永久に滅びない7つのダルマ、『七不衰法』です。多くの住民が参集してしばしば会議をすること。協力して決議通りに行動すること。風習を守ること。年長者を敬うこと。女性や子どもに決して手をあげないこと。社会が守ってきた聖域の社や祠を敬うこと。道を学ぶ修行者たちを尊敬し、彼らを守り、学ぶ者たちはよく集まること。これは永久に栄えるテーマであり、私達が住む市原はすべて満たされていることに気づいてください」と、千葉さんは声を大にする。

文明は発展しているにも関わらず、現代で起こるニュースには女性や子どもが被害になっていることは少なくない。2500年も前にすでに人権や福祉の重要さはブッダから人々に教えられており、最も重要なことでもあったのだ。千葉さんはその後、『七不衰法』の裏返しとされるマハトマ・ガンジーの『七つの大罪』を紹介。イギリスからの独立運動を指揮したガンジーは非暴力と不服従を訴え、成功。同じ方式で世界中が独立運動を起こしたという立役者だ。「大きなことから始める必要はありません。お互いに感謝の心を持って、日々生活していく中で教えを学ぶことが大切なのです」と最後に話した。

（松丸）

企画・防災特集 第1回

行政・地域・市民のつながりで協力態勢を

異常気象や地震などで、全国各地に災害が発生している近年。特に2011年3月11日によってもたらされた東日本大震災は、未だに鮮明に記憶している人も多いだろう。市原市でも震災時の臨海部工場の爆発や、度々起こる豪雨での浸水・冠水、土砂崩れなど、身近な場所でも被害が出ている。
いざという時、私たちの暮らしを守っていくにはどんな方法が必要なのか、どんな情報を知っていれば役立つか。シティライフでは、読者の皆さんへ定期的に防災の情報お伝えしていきたいと思う。第1回である今回は、市原市の取り組みとして、現在行われていることを取材した。

市原市は、東日本大震災の経験を踏まえ、防災に対する態勢を強化している。市民に一番分かりやすく形になったのは、2018年2月から供用を開始した新しい防災庁舎だろう。「旧庁舎の耐震面での危険性という問題を、市で急ぎ整備する案件と判断したのは、やはり3・11が大きかったですね。私たち職員も、あの地震で初めて体験したことがいくらでもあります。庁舎内の市民の避難誘導、職員の全員待避。五井地区全域（3万6367世帯・8万5024人）への避難勧告。部署に関係なく、人員応援で交代で庁舎に泊まり込むなど、それまで本当にやったことがなかった。災害発生時、どうすれば迅速に対処できるのかなど、職員の意識も変わったと思います」と話すのは、危機管理課課長の佐久間重充さん(51)。市町村の行政機能が壊滅的打撃を受けると、その後の救助や避難、物資の配布など、いざという時の生命線である公助が絶たれてしまうことにもなりかねない。県内各市町村でも同様の問題を重視し、浦安、習志野、市川市では新庁舎を建設、防災面強化を打ち出しており、千葉市もこれから整備される予定だ。

市原市の防災庁舎は、危機管理課と災害対策本部用フロアが向かい合っているのが特徴のひとつ。緊急時に即対応するフローも確立されており、どの職員が入室しても確認できる項目図が大きく壁面に貼られ、備品もすぐ使えるよう配置済み。「台風や大雪など気象情報から早く警戒態勢を敷き、災害が起こる前に準備します。もし職員が帰宅し、急な天候変化で登庁できない危険性があるなら、最初から帰宅せず庁舎に泊まります」と、課長補佐の大関一彦さん(47)も話す。実際、取材した翌日には関東圏で大雪予報が出ていたため、担当職員は当日帰宅しない予定になっていた。

危機管理課課長・佐久間さん（左）、課長補佐・大関さん
災害対策本部用フロア・緊急時対応のフロー表の前で

大関さんは、東日本大震災で実際に被災現場に立った職員のひとり。当時は財政課所属で、地震が治まった後、避難所運営のために臨海地域へと向かっていたが、市役所通りのJR陸橋の上に来たとき、突然、爆風を受けた。「コンビナートのタンク火災です。車中にいても顔が熱くなるほど、もの凄い熱風でした。市役所に連絡しようにも、電話もメールもつながらず、とにかく若葉小に急行しました」。避難所の体育館には、すでに地域住民や工場の人たちなどが集まっていたが、校舎の窓ガラスが爆風で破損するなど、避難所として安全な状況ではなかった。急遽、国分寺台へ移送することとなり、公用車をなんとか数台集めたが、とうてい間に合わず、小湊バスもチャーター。国分寺台西小、西中、東小体育館へと、無事に移送した。大関さんは「今、思い出そうとしても細かいことは記憶がないんです。何しろすべて初めてのことで、無我夢中だったのだと思います」と語る。

市が昨年度から新たに始めた防災の取り組みには、地区防災計画がある。県内初の試みで、公助・共助・自助を連携し、防災の実効性を高めることが狙いだ。「これまでの防災計画は行政だけの話でした。しかし大規模災害になると、行政だけでは対応しきれない。特に市原は、県下で面積が一番広く、コンビナート、住宅街、山間部、養老渓谷と、地域によって特性が違います。災害も工場火災、養老川の氾濫による農地や住宅地の浸水、山間の土砂災害と、リスクも違う。平常時や被災直後、各地域でどんなことをすればいいのか、住民の皆さんに計画してもらい、それを市の防災計画にも組み入れるという施策です」と佐久間さん。昨年2月から計6回、市民参加の防災100人会議を実施、今年1月には防災計画を立てるモデル地区を3地区決定した。各地区は約1年かけて市と協力しながら計画を策定する。昨年10月には避難所の見直しもし、立地により災害別用途に変えた。水害が起きそうな場所は豪雨時には避難所にはならず、それを誰でも分かるように看板の設置もするという。佐久間さんは「これからの防災は、行政・地域・市民、すべてつながっていることが重要となります。大規模地震の危険性がある今、確実な協力態勢を作ることで、防災活動の推進にしたいと考えています」と話した。

（米澤）

昨年10月に作成し、すべての町会と自主防災組織に配布された冊子

※次回は4月、地震が起きたときの防災情報をまとめます。

今年はラグビーイヤー！ アジア初ワールドカップも開催

体協通信 vol.111

市原市ラグビーフットボール協会

市原市ラグビーフットボール協会は、昭和41年に設立、今年で54年目を迎えます。当協会の歴史は、日本経済に大きく左右されてきました。オイルショックにより先輩諸氏が職場を去り、バブル崩壊後の経済低迷期では新卒採用の抑制により後継者不足に、また現在では部員の高齢化が進んで、クラブ化での活動となりました。このような幾多の困難の中、多くのラグビー愛好者に支えていただき、今日を迎えることとなりました。

2019年はラグビーイヤーです。アジア初のラグビーワールドカップが開催、9月20日には日本VSロシアの開幕戦が東京スタジアムで行われ、40日間に渡り熱戦が繰り広げられます。市原市は、公認チームキャンプ地としてアイルランドチームを迎えます。また、ラグビー国際大会「スーパーラグビー」に参戦している日本のチーム「ヒト・コミュニケーションズ サンウルブズ」が2019年シーズン、市原スポレクパークを練習拠点に活動していくことが決定しました。ラグビーを通じたスポーツ活動振興への寄与はもとより、市民との交流などが期待されます。

協会の事業としては普及育成の「ラグビースクール」「タグラグビー教室」。「市原市タグラグビー大会」開催は20回を数え、年々参加チームも増えて2018年は16チーム、120名の選手が参加し、盛大に行われました。また2012年から「市原市ラグビーフェスタ」を開催、子ども達にラグビーに親しんでもらい、トップチームを招待してレベルの高い試合を観戦していただいています。今年の試合はサンウルブズVSハリケーンズの予定です。

35年以上の歴史を誇る7人制ラグビー（セブンズ）の大会「市原セブンズ」は、千葉県内外の男子、女子ラグビーチームが参加し毎年開催。生涯スポーツとしての普及においては「市原ラグビークラブ」が、19歳から80歳までの80名が在籍。現役と不惑の2部構成で、現役は、千葉県社会人リーグ、市原市秋季大会、県民大会、市原セブンズなどに参加。不惑は、近隣の不惑チームとの定期戦、東日本不惑大会、関東甲信越不惑大会を中心に活動。今年の関東甲信越不惑大会は、11月9日(土)10日(日)、市原スポレクパークで開催され、約300人の不惑ラガーが集まります。

市原市ラグビーフットボール協会は、今後もラグビー競技の普及および振興に努めてまいります。

- 市原市ラグビーフェスタ 4月20日(土)オリプリスタジアム
- 市原セブンズ 11月17日(日)ちはら台運動公園
- 市原市市民大会リーグ戦 秋季大会 ちはら台運動公園他市内グラウンド
- 市原市タグラグビー大会 9月16日(祝)八幡球技場
- 市原ラグビースクール 辰巳台東小 (日)9時から
- タグラグビー教室 市原スポレクパーク 第2(日)9時から
- 市原ラグビークラブ 現役：18才～38才位 自分が現役と思えば現役！ 不惑：39才から動けるまで ともに出光興産グラウンド(土)10時から

(問)事務局 岩崎修一 ichihara-rugby@email.plala.or.jp FAX0436・74・9523

行広告 有料

1行24文字 2,400円(税別)

※掲載情報をご利用の際は、売買契約等、当事者間でよくお話し合いの上ご契約ください。取引について当社では一切責任を負えません

買います

●**ヤマハピアノ高価** コンドー楽器 ☎0120-137-512

●**ピアノ** 漆田 ☎24-0833

●**金プラチナ商品券** 相場・額面の90～98%で てんとう虫 ☎0475-72-9400 大網店 休み不定 0476-36-4388 富里店 043-310-5825 都賀店

生徒募集

●**シツデン音楽教室** ピアノ、フルート、バイオリン、声楽 ☎24-0833

求人

●**パート美容師募集** 週1日からOK スウィート牛久店 ☎0436-92-2266

営業案内

●**ネズミ駆除** 超プロが1回で完全駆除 被害はイエダニの発生 病原菌をまきちらす ★一戸建・アパートに限定 任せて安心 創業50年の信用 調査見積無料 田辺消毒防除センター ☎0436-25-2801

●**ミシン修理承ります** 90%は直ります 家庭用ミシン どこのメーカーでもOK 持ち込み修理OK 街のミシン屋いちばん館 ☎0436-20-3483

●**シロアリ防除** シロアリは駆除から『予防』の時代です まずはお電話で ダスキン姉崎 ☎23-0341

お知らせ

●**アトリエ・コンサート** 小川麻子チェンバロ・リサイタル「世紀の対決 バッハVSヘンデル」 4／21(日) 14時開演 伊藤ハープシコード工房（中高根） バッハ「半音階的幻想曲とフーガ」、ヘンデル「組曲第7番」ほか 3,000円・茶菓付き 要予約 ☎0436-95-5880

コミュニティひろば 無料

※掲載情報をご利用の際は、内容を当事者間でよくお話し合いの上ご利用ください。当社では一切責任を負えません

ペット情報

●**犬差し上げます** 秋田犬 2才 オス 虎毛 八街・大越 ☎090-4660-1679

●**子猫差し上げます** スコティッシュフォールドのクォーター 生後2カ月 メス2・オス1 トイレしつけ済 ペット可にお住まいの方、最後まで責任をもって家族のように可愛がってくださる方 袖ケ浦・保坂 ☎090-3200-5859

サークル

●**加茂混成コーラス** 第2・4(水) 10～12時 加茂公民館（高滝ダムそば） 月会費：3,000円 初心者の方も一緒に楽しく 廣瀬 ☎0436-26-7920

●**スクエアダンス・袖ヶ浦レインボー** 4／2～毎(火) 18時半～20時半 長浦公民館 8人1組・ゲーム感覚で歩くウォーキングダンス 子供から大人まで 基本動作を覚えコーラー（動きの組み立てをする人）の指示で動く 日頃の運動不足、脳トレ、ダイエットに最適 月会費：1,000円 立原 ☎090-1880-6620

●**茶道・椅子席で楽しむ** 4／18～第1・3(木) 9時半～12時 サンプラザ市原 月会費：2,000円、別途会場費 気軽に楽しくおしゃべりしながら、テーブルと椅子席で基本の点前を楽しく 初めての方向け 小出 ☎090-2336-8889

●**歌声サロン・カナリヤ** 第2・4(木) 9時半～12時 市津公民館 月会費2,000円 健康維持・アップの為、脳トレ・発声練習・軽体操・コーラスを楽しむ 性別不問・見学歓迎 伊藤 ☎090-9007-5637

●**スクエアーモチーフ** 毎(金) 18～20時 姉崎公民館 月会費1,000円 音楽にのって楽しみながら有酸素運動 頭・体・心もアンチエイジング 子供からシニアまでお気軽に 無料体験中 坂口 ☎090-7908-1244

イベント

●**上総国分寺骨董市・フリーマーケット** 3／24(日) 9～14時 雨天中止 上総国分寺境内 毎月第4(日)開催予定 事務局 ☎090-3047-8216

●**山野草展** 3／24(日) 9～15時 房総萬華園（多田ビニール内） 落合 ☎090-6310-9251

●**大多喜春の祭り** 渡辺正行の新人コント大会：3／24(日)13時半～中央公民館 手作り甲冑展：3／24(日)～4／14(日)観光本陣 さくらまつり：3／30(土)31(日)大多喜城ほか たけのこまつり：4／7(日)道の駅たけゆらの里 大多喜町観光協会 ☎0470-80-1146

●**千種のミニ歴史館** 3／31(日) 9時半～12時半 千種コミュニティセンター 千種地区に関する歴史資料の展示解説 江戸時代の末期の地域活動（町会活動）、明治期の年中行事や酉の市、大正～昭和期は生業と生活に関する資料、戦時期では戦闘機のプロペラや出征兵士の寄せ書きなど多数展示 講座「山本五十六揮毫の戦闘機プロペラと戦争関連資料」「千種地区の歴史と文化」「松ヶ島永井家所蔵品」 先着100名 500円 要申込 ☎0436-26-1515

●**グラスモデラート展** 4／2(火)～7(日) 9時半～17時、最終日16時半 DIC川村記念美術館付属ギャラリー 入場無料 袖ケ浦在住のトンボ玉作家ほか14名の作品 駒野 ☎080-3534-9240

●**認知症介護の会・はなみずき** 4／4(木) 11～14時半 カフェシオン 300円・飲物付き 昼食持参かランチありで 朝岡 ☎0436-24-5117

●**上総更級公園センターのイベント** 宿根草の増やし方・株分け：4／6(土)13時半～15時半・先着20名・無料 バラの手入れのボランティア：4／7(日)14～16時・バラの手入れの仕方を学ぶ ともに電話で要申込 ☎0436-20-3555

●**メンタル・セルフ・ケア無料体験** 4／12(金) 10～10時50分 鎌取コミュニティーセンター カウンセラーのもとで話を聴き合い、心地良さを感じるメンタル力(りょく)を養う 毎月第2(金)に活動・年会費1,000円 要予約、名前・連絡先とサークル体験希望を伝えると、折り返しの連絡あり ナチュラル・ハート 田頭(たがしら) ☎090-4076-3890

●**春のフリーマーケット出店者募集** 4／27(土) 雨天翌日 10～14時 若宮中央公園 出店料：1,000円（1区画3×2m）、搬入8～9時半、駐車場有、 ご家庭で不要になった品物の寄付もお願いします 売り上げの収益はペシャワール会等に寄付 ☎0436-43-1406

その他

●**畑貸します** アリオ近く 無料 ☎090-3406-9700

買い物や飲食は地元のお店を利用しましょう
地域情報紙 シティライフ 市原版
2019年3月23日(土)市原版 4
配布地域／市原市・袖ケ浦市【75,000部】
https://www.cl-shop.com
地域で守ろう子どもの安全
企画・制作／シティライフ株式会社 〒290-0022 市原市西広550
TEL.0436(21)9311 FAX.0436(21)9141
■広告のお問い合わせ…sales@cl-shop.com
■記事・情報は…kiji@cl-shop.com

みんなで楽しいひなまつり

毎月第4月曜日に五井公民館でふれあい子育てサロン『子育て会1・2・3（ワンツースリー）』が開催されている。未就学前の乳幼児と親たちを対象に年10回、こいのぼりや七夕、ミニ運動会、クリスマスなど季節の行事を織り込みながら、親子が楽しめる内容で構成されている。3月3日のひなまつりを目前に控えた2月25日(月)、『おひなさま作り』が行われ、市内から親子約40名が参加した。

五井地区社会福祉協議会で子育て支援部会長の小倉政江さんが、「指の体操をしましょう！」と子ども達に明るく呼びかける。1歳未満から3歳までと年齢も様々の子ども達だが、小倉さんの声と指体操の動きに興味津々で近付いて行く。「では、お母さんたちが和紙を折り、お子さんたちは真似してみましょう」と続ける小倉さんの言葉でおひなさま作りがスタート。折り紙の大きさでできた広告の裏紙を、母親の真似をして折る子。背中に寄りかかりながら、母親の手元を覗き込む子。綺麗な柄の和紙に夢中な子。みんなが元気いっぱい！

スタッフが常に周囲の泣いている子に「どうしたの？」と呼びかける姿は、安心感で満たされた光景。「今日が4回目の参加です。楽しかったです」と話す母子。3歳の娘さんは、「ここをボンドで止めるのを忘れちゃった」と呟きながらも、大事そうに作品を握りしめていた。

また、市原市ネウボラセンターから参加した保健師3名より『冬の感染症対策』や『食育』について、クイズを交えながら紹介するコーナーも。『キラキラ星』のメロディにのせた手洗い歌で、しっかり風邪を予防してひなまつりを楽しめたかな!?（松丸）

千葉県住みます芸人！ もぐぴーの言いたい放題！

こんに千葉～♪もぐもぐピーナッツのリアルチーバくん担当**ばっしーです！**

前日、嫁がニヤニヤしながら「書いたよ～！見てー！」といきなりホワイトボードを渡されました。

写真を見て下さい！はい、ここでクイズです。どっちが僕で、どっちがうっほでしょう？

もう、うっほの絵にはもう悪意がありますね(笑)嫁の目にはうっほはこう見えてるんだ！ゴリラっぽく描こうという気持ちは伝わりますが、ただの犯罪者です。前科250犯です！僕も僕で夫ひいきで可愛くシンプルに良く描こうと思ったんでしょうけど、結果イジってますね(笑)！ちびまる子ちゃんの永沢君です！

オレの事そんな風に見てたの？そんな僕のツッコミを全部1人で笑って返す嫁。僕も自分のボケを1番自分が笑う癖あるけど、やっぱ夫婦は似てくるんですねー！それにしてもこの絶妙な画力と丁度良い破壊力！絵で人をイジるなんて芸人でもなかなか難しい中、素人の嫁がこんな事をするなんて！すべてはもぐピーを応援する愛情あっての事。これからも仲良くやっていけそうです！たまに嫁画伯のコーナーもやっていきますね(笑)！お楽しみに～♪

よしもと幕張イオンモール劇場 平日昼ネタライブご招待!

平日に幕張イオンモール劇場で行われている昼ネタライブ10組20名様を抽選でご招待!

応募方法
住所・氏名・年齢・職業・好きなお笑い芸人を書いて
ハガキ：〒290-0022 市原市西広550 シティライフよしもと係
ファクス：0436−21−9142
メール：ちばぶらnetの専用フォームをご利用ください。
締切 3/28(木)

もぐもぐピーナッツ プロフィール
うっほ菅原（右）とばっしー（左）のコンビ。うっほ菅原は、2011年より千葉県住みます芸人として活動。イベント出演他、町役場の職員芸人、お笑い船頭など、千葉県を盛り上げるため様々な活動を展開している。

アクティブシニア募集中！

近年、各地で活躍が話題となっているアクティブシニアの皆さん。アクティブシニアとは、65歳以上で趣味やボランティア、仕事など様々な活動に意欲的である元気なシニア層のこと。

生涯現役志向で自分なりの価値観やライフスタイルへのこだわりを持ち、自分らしく前向きに明るく生きている方、新しいことへの挑戦を試みている方も多いです。

かつてのシニアとはイメージが変わってきた今のシニア世代。高齢者と呼ぶには戸惑うような元気ではつらつとした生き方を実践しています。

読者の皆さんの周りにもそんな方がいませんか？自薦・他薦不問。シティライフでご紹介することで、多くの方々の励みになったり、刺激になることと思います。宛先は『シティライフ・アクティブシニア』係迄。メール・ファックスで。※取材をお願いする方には、こちらから電話連絡しますので、必ず電話番号を明記のこと。

FAX 0436・21・9142
kiji@cl-shop.com

市民クラブ VONDS ICHIHARA INFORMATION

VONDS市原FC 2019シーズン開幕！

関東サッカーリーグ1部 前期1節
4.7(日) 11:00 KickOff 入場無料
会場 ゼットエーオリプリスタジアム(市原市岩崎536)
VONDS市原FC VS 桐蔭横浜大学FC

エスコートキッズ・運営ボランティア募集中!!
ホームゲーム開催時は、常時トップ選手によるサッカー教室を開催!!
詳しくはオフィシャルHPをご確認ください

VONDS（ボンズ）市原 事務局
千葉県市原市喜多890-1
☎0436-75-2015 E-mail jimukyoku@vonds.net
VONDS市原の最新情報はVONDS市原オフィシャルホームページへ!!
http://vonds.net VONDS市原 GO